_	適応がん種	レジメン名(略語)	臨床使用分類	抗癌剤適応分類	1コース期間	
○入院のみ外来のみ共通	非ホジキンリンパ腫	R-CHOP	○日常診療	術前化学療法	21日間	
			臨床試験承認済	術後補助療法	21日月	
			治験承認済·審議中	進行•再発	予定総コース	
			その他()	6~8	

☆上記のうち該当箇所に○を付けてください

薬品名(商品名)、溶解液の種類と量	1回投与量	投与時間又は用法	投与目(d1,8など)	投与経路
生理食塩液	200mL	リツキサンに準じて	d1	主管
	200mL	150分	d2	主管
ポララミン	2mg	リツキサン投与	d1	内服
カロナール	400mg	30分削		1 4/404
リツキサン	375mg/m2			
生理食塩液	10倍希釈量	*1)	d1	側管
アロキシ	1V			
生理食塩液	100mL	15分	d2	側管
エンドキサン	750mg/m²			
生理食塩液	500mL	2時間	d2	側管
ドキソルビシン	50mg/m ²		кр) 3.0./ <u>ж</u> 11	
生理食塩液	50mL	30分	d2	側管
オンコビン				
生理食塩液	50mL	30分	d2	側管
			Rp) 5.6.7並行	
PSL	40mg/m2		d2~6	内服
	生理食塩液 ポララミン カロナール リツキサン 生理食塩液 アロキシ 生理食塩液 生理食塩液 ドキソルビシン 生理食塩液 オンコビン 生理食塩液 生理食塩液	生理食塩液 200mL ポララミン 2mg カロナール 400mg リツキサン 375mg/m2 生理食塩液 10倍希釈量 アロキシ 1V 生理食塩液 100mL エンドキサン 750mg/m² 生理食塩液 500mL ドキソルビシン 50mg/m² 生理食塩液 50mL オンコビン 1.4mg/m2(上 生理食塩液 50mL	生理食塩液 200mL リツキサンに準じて 200mL ポララミン カロナール 2mg Jツキサン投与 30分前 リツキサン 生理食塩液 375mg/m2 **1) 生理食塩液 10倍希釈量 **1) アロキシ 生理食塩液 1V 生理食塩液 100mL 15分 エンドキサン 750mg/m² 2時間 ドキソルビシン 50mg/m² 50mL 30分 オンコビン 1.4mg/m2(上限2mg/body) 生理食塩液 生理食塩液 50mL 30分	生理食塩液 200mL リツキサンに準じて d1 150分 d2 ポララミン カロナール 2mg Jッツキサン投与 30分前 d1 30分前 d2 30分前 d2 30分前 d2 30分前 d2 30分前 d2 30分 d

<投与基準>

WBC>2000/L, Neutoro>1,500/L, Hb>8.0 g/dL, PLT>100,000/L; T-Bil<3.6mg/dL、血清クレアチニン<2.7mg/dL,SpO2>90%、体温<38℃、非血液毒性≦G1又は回復している。

<有害事象>

好中球減少、血小板減少、便秘、末梢性感覚ニューロパチー、悪心

<減量基準>

[CPA]

T-Bil: 3.1- $5.0 \rightarrow 75\%$ Dose, GFR $\leq 10 \rightarrow 75\%$ Dose

[ADM]

T-Bil:1.5-3.0→50%Dose、3.1-5.0→25%Dose、>5.0→禁忌

AST:60-180→50%Dose、>180→25%Dose

[VCR]

T-Bil:1.5-3.0→50%Dose、>3.0→禁忌

<その他注意>

【リツキサン】

*1) 【A法】

留意点および急性期有害事

· 象 初回投与時は、最初の30分は50mg/時の速度で点滴静注を開始し、患者の状態を十分観察しながら、その後注入速度を30分毎に50mg/時ずつ上げて、最大400mg/時まで速度を上げることができる。また、2回目以降の注入開始速度は、初回投与時に発現した副作用が軽微であった場合、100mg/時まで上げて開始し、その後30分毎に100mg/時ずつ上げて、最大400mg/時まで上げることができる。

きる。 【B法】

リツキサンが初回の場合は25ml/hrで開始し次の1時間は100ml/hr、以後は200ml/hrで最後まで。2回目以降は100ml/hrから開始し1時間 後に200ml/hrへ増量し最後まで。

[CPA]

・シクロホスファミド100mgあたり5mLの生理食塩水を加えて溶解する。

・調製には閉鎖式回路(ファシール)を使用する。

[DXR]

総投与量が500mg/m2を超えると重篤な心筋障害を起こすことが多くなるので注意すること。また、胸部あるいは腹部に放射線療法を受けた患者では心筋障害が増強されるおそれがあるので特に注意すること。

参 考			
文			
献			

夜間, 帰宅時, 対応医師への連絡先

平日日中は内科外来(3116,2419)、夜間・休日は当直(8029)